

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。



分散型エネルギーの推進と 地域へのエネルギーの安定供給

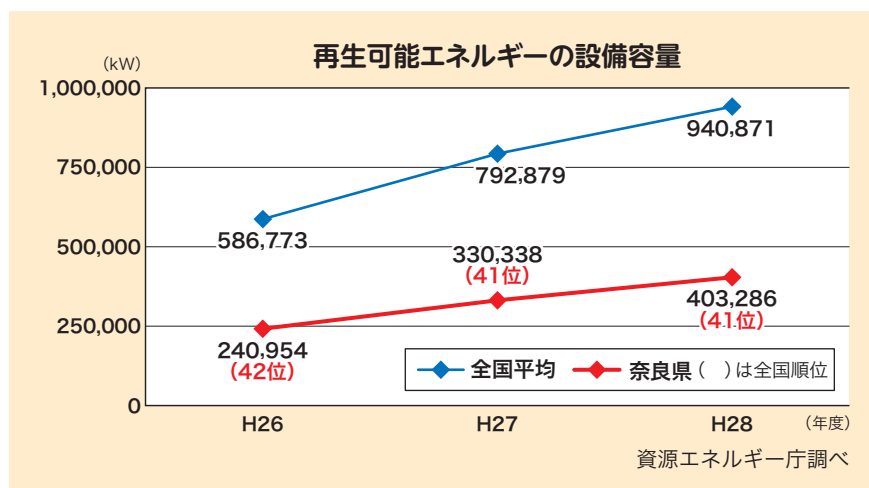
主担当部局：地域振興部



奈良県次世代エネルギーパークバスツアー(御所浄水場)

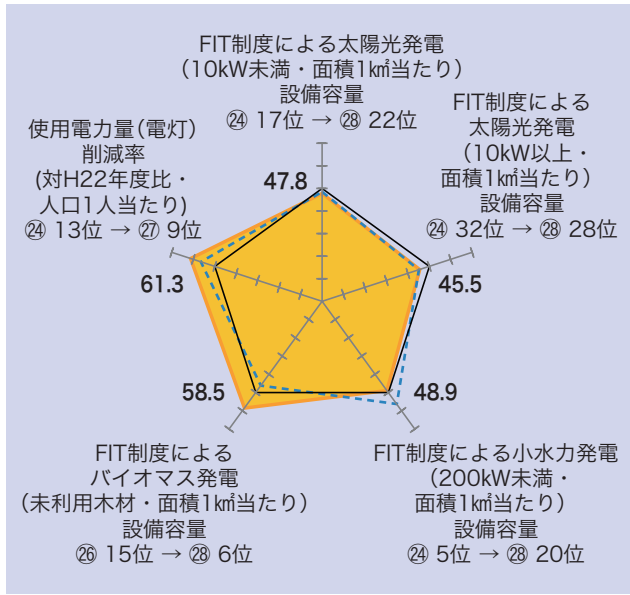
目指す姿

平成30(2018)年度の再生可能エネルギーの設備容量を平成26(2014)年度比の1.6倍(385,527kW)にします。

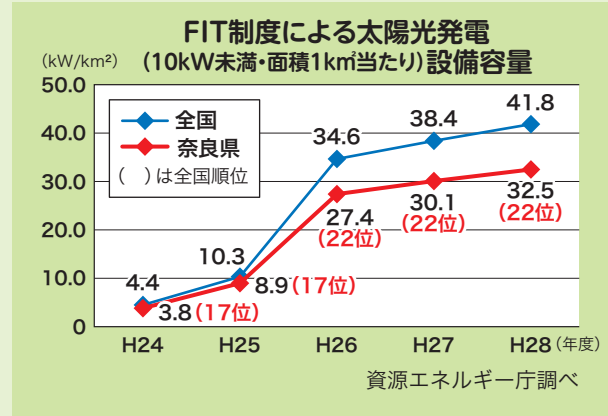


目指す姿を達成するための取組状況

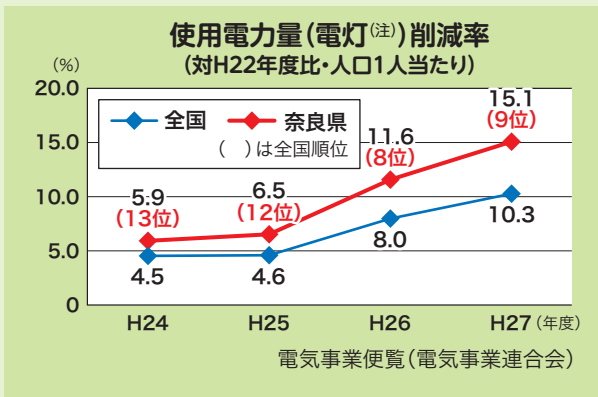
● 現状



● トレンド

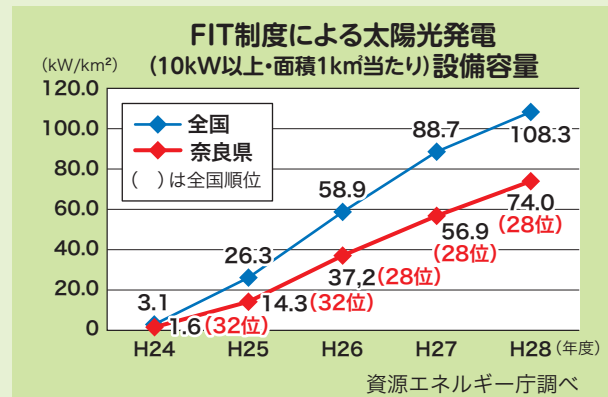


主に家庭用と考えられる太陽光発電(10kW未満)は、平成24年度と比較して28.7ポイント増加しており、全国22位となっています。

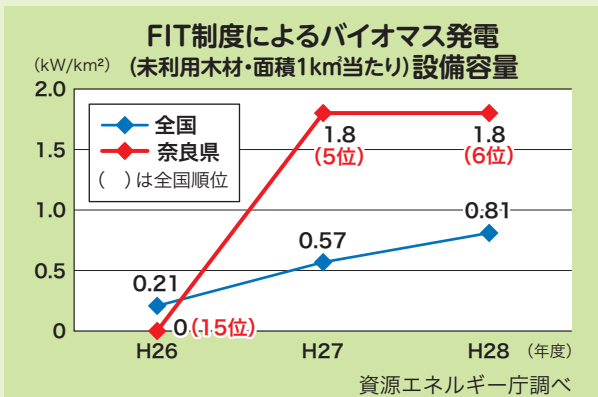


(注)電灯…主に家庭や商店、事務所等で使用する電気

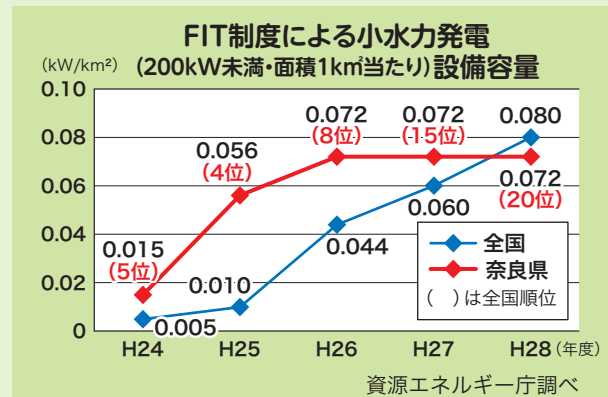
使用電力量(電灯)削減率は、年々上昇しており、平成27年度で平成22年度比15.1%削減しており、全国平均を上回っています。



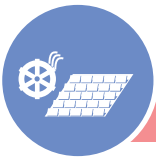
主に事業用と考えられる太陽光発電(10kW以上)は、メガソーラーの普及により、平成24年度と比較して72.4ポイント増加しており、全国28位となっています。



未利用木材を使用したバイオマス発電は、平成26年度と比較して1.8ポイント増加しており、全国6位となっています。



小水力発電(200kW未満)は、平成24年度と比較して0.057ポイント増加しており、全国20位となっています。



戦略 1

エネルギーを活用した地域振興を推進するとともに、緊急時のエネルギー対策を進めます。

主担当課：地域振興部 エネルギー政策課

戦略目標

家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの利用熱量

8,699MJ/h
平成26(2014)年度

目標

12,199MJ/h
平成30(2018)年度

小規模避難所での非常用電源設置箇所数(累計)

108カ所
平成29(2017)年度

目標

142カ所
平成31(2019)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
家庭のスマートハウス化による自立電源の確保	太陽光パネルと蓄電池・燃料電池を組み合わせた補助の実施		
公共施設・避難所への非常用発電機の導入促進	EV・LPガス発電を活用した避難所への電力供給補助の実施		
再生可能エネルギー導入に向けた支援	アドバイザーの登録・派遣等、再生可能エネルギー導入への調査補助の実施		



再生可能エネルギー導入アドバイザー派遣によるソーラークッキング体験 (香芝市)



小水力発電機の導入(東吉野村・つくばね発電所)

戦略 2

多様なエネルギーの利活用を図るとともに、奈良の省エネ・節電スタイルを推進します。

主担当課：地域振興部 エネルギー政策課

戦略目標

太陽熱システムの利用熱量

19,014MJ/h
平成26(2014)年度



21,014MJ/h
平成30(2018)年度

電力使用量※

100%
平成26(2014)年度



96.5%
平成30(2018)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
再生可能エネルギー熱利用の導入促進	家庭用・事業所用の太陽熱整備補助の実施		
「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進	奈良の省エネ・節電スタイル連絡調整会議の開催、 省エネ・節電の呼びかけや取組募集・表彰等、 中小企業等向けに省エネ改修補助の実施		



福祉施設における太陽熱温水システムの導入(桜井市)



次世代エネルギー普及啓発教室(大和高田市)